

合格！

交通委員の生徒が担任の先生と協力して自転車点検を行いました。(4月12日・13日)



安全な車体かな？ 丁寧に点検。



1年生は天候急変により駐輪場で点検しました。



合格証のステッカーをフレームに貼付。



ブレーキの制動テストは？ Good！

安全な車体とヘルメット着用。そして、何と言っても、肝心なのは安全走行です。今月に発生した高東の交通事故は4件(4月21日現在)です。また、高崎市内では重傷事故が新学期3日目の朝に起きています。決して他人事と思わずに安全走行に努めてください。

『自転車も乗れば車の仲間入り』 J・N・K

交通法規に従うのは当然のことですが、何よりもたいせつなのは「危険予測力」です。一時停止・安全確認をおこない、出会い頭の衝突・接触事故を絶対に防ぎましょう。

■万が一、事故を起こしてしまったときはどうするの？（生徒手帳 173 ページ参照）

その場で必ず、警察に連絡してください。（警察もそれを望んでいます。）

保護者ならびに学校にも連絡してください。

お父さんやお母さんには、「僕が自宅を出てから高東に着くまでの間、携帯電話をそばに置いて着信に気づけるようにしてね。」とお願いしておいてください。

事故処理によって学校を遅刻してしまったとしても、それは仕方のないことです。現場できちんと処理をするようにしてください。初期段階での一手間を惜しむと、後でもっともっとたいへんなこととなります。J・N・K 「車両」の運転手として交通社会のルールに従いましょう。

“いじめ” 根絶を！

高東には現在506人の生徒が在籍しています。

これは、506通りの姿があり、506通りの考え方があるということを意味します。ただし、自分勝手な言動をしてよいという話ではありません。

506人全員で協力し生活しやすい高東をつくっていく。そのためには一つの方向を向いて進んでいかなければなりません。そういう大きなところでは一致。それでいて、個人個人の存在を尊重する。違いを認め合う。他の人が自分と同じでなければいけない、とか、自分が他の人と違っていて恥ずかしい、とか。そういうことは気にしなくてよいのです。

今年度のいじめ防止活動推進ポスター標語

次はあなたが救う番 ～勇気・思いやり・協力～

リアルでもネットでもどんな世界においても「いじめ」は絶対に許しません！

とくに、SNSを通じての「いじめ」行為は比較的安易な気持ちで行われる傾向があります。「これぐらいなら大丈夫だろう」は通用しません。もしも、あなたがそうされたらどう思いますか？ そもそも、あなたの基準ではなく、いじめを受ける側の気持ちが基準なのです。

相手に嫌がらせをしたり、仲間外れにしたりする前に、あなた自身をチェックしましょう。きちんと自分自身と向き合えていますか？ 保護者や先生たちの助言を聞きながら自分の将来を主体的に考えようとしていますか？ 高校生活はとても短く、そして人生の行方を決めるほどのたいせつな時期です。貴重な時間を“自分磨き”に使いましょう。高東を卒業し1ヶ月後に訪れる4月1日をどのように迎えるのか、真剣に考えましょう。

新学期が始まって3週目

多かれ少なかれ、誰もが環境の変化に戸惑っています。辛い、苦しい、と感じたら近くの大人に伝えましょう。また、周りの生徒は、友人がもしもSOSを発していたら、寄り添って受け止め、すぐに身近な先生につないでください。お互いが助け合って乗り越えましょう。

二者面談週間ですね。5月の連休に入る前に、クラス担任の先生に悩みを聴いてもらってください。